

令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立土岐紅陵高等学校 学校番号 47

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 自己の在り方や生き方を主体的に考えるとともに、思いやりのある人間を育成する。 (2) 社会で求められる資質や品格を身に付けた人間を育成する。 (3) 地域社会に貢献できる人間を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇学習指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価(保護者)の「学習指導」に係る項目のうち「授業を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている」の肯定的な評価が、昨年度の65%から今年度は80%となった。 ・学校評価(生徒)の「学習指導」に係る項目のうち「ICTを活用した学習活動や協働的な学びの機会、…それが学習の理解につながっている」の肯定的な評価が65%とやや低い。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇学力とコミュニケーション能力の向上を目指した教育活動を推進する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学力とコミュニケーション能力の向上を目指した授業改善に取り組むために、教科会での研修を推進する。 ・ICTを活用した授業実践を交流するなどの校内研修会を計画する。 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1)「できなかったことができるようになった」場面をできる限り多く設ける等の授業改善に取り組む。 (2)コミュニケーション能力の向上を目指し、対話の場面を取り入れる等の授業改善に取り組む。 (3)ICTを活用した教育活動について、実践を通じて研究を進める。	(1)学校評価の「学習指導」に係る項目における肯定的な評価が70%以上になる。 (2)「対話の場面を取り入れる」等の工夫をした授業を、全ての教員が年に3回以上実施する。 (3)ICTを活用する授業を実践するための職員研修会を行い、研究授業を実施する。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ①教材を共有化したり、教え方の工夫等を教科会で交流したりした。 ②春と秋に実施した授業公開週間や、中学生の高校見学会等で、授業改善を意識した授業を実践できた。 ③夏休み後の県下一斉感染予防のためのオンライン学習支援を機に、eラーニングシステム「manaba」等の活用が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①わかる授業が実施されているか。 ②「主体的・対話的で深い学びの授業」が実施されているか。 ③ICTを活用する授業が実施されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> (A) B C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	<p>○秋の授業公開週間後の教員向けアンケートに「みなさん、タブレットや様々なアプリを使って授業をするのが当たり前となっていて、自分も頑張ろうと思った。」という感想があるように、徐々にではあるがICTを活用した授業が増えている。</p> <p>▲昨年度からのオンライン学習支援により、パワーポイントを活用した授業は多くなっているが、生徒一人一人がタブレットを使って協働的な学びを実践している授業はまだまだ少ない。</p>	
12 来年度に向けての改善方策案	<p>生徒一人一人がタブレットを使っている授業の実践を交流する研修会を計画したり、授業公開週間で互いの授業を積極的に参観したりして、ICTを活用した授業や協働的な学びを実践している授業を増やしていきたい。</p>	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年3月7日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTへの取組に対する改善の方向が示されている点が良い。 ・家庭学習習慣が確立していない生徒にとっては対面授業の必要性を感じる。 ・中学校でもタブレット端末を活用した授業をどの教科でも行っている。コロナ禍の影響を考えながら研究の柱に共働学習を取り入れ、主体的・対話的で深い学びができるよう進めており、高校でもさらに力を付けられるとよい。

2	評価する領域・分野	◇生徒指導		
3	現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価(生徒)の「生徒指導」に係る項目のうち、「本校では、人間としての基本的なモラルやマナーを身に付けさせようと努めている。」の肯定的な評価が74%(昨年度83%、一昨年度77%)であった。 ・コロナによる行事中止や学校ルールの変更、オンライン授業(タブレット活用)など生徒へ対応を求める機会が急増した結果、消化不良を起こしたり拡大解釈をしたりする一部の生徒のモラルやマナーを大切にすることができない行動の影響と思われる。 		
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を目指した生徒指導を推進する。		
5	重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や外部職員との緊密な関係と情報共有 ・機を逃さず適切な生徒指導が行える組織的対応を実践する。 ・予防的な教育活動に積極的に取り組む。 		
6	目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1)基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭と積極的に連携しながら取り組む。 (2)あらゆる機会において自主性・積極性・協調性を養うとともに、規範意識を養い、公共心・道徳心を育てることを意識した指導を行う。		(1)学校評価における「生徒指導」に係る項目における肯定的な評価が70%以上、保護者評価「学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている。」が80%以上になる。 (2)いじめ認知を積極的に行うとともに適切な組織対応を行う。		
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
①学校ルールやマナーに反した場合や遅刻回数が増加した生徒の保護者に連絡を行い、指導協力を依頼する。「学校生活の改善に向けて」「生活指導ファイル」「遅刻改善書」 ②いじめに関する職員研修を確実にを行い、職員はいじめ認知の感覚や対応力を高める。		①生徒が安全で安心して落ち着いた学校生活を送ることができたか。 ②いじめ認知を積極的に行うとともに適切な対応ができたか。	A B C D A B C D	
11	成果・課題	総合評価		
○いじめ認知件数は、生徒の日常的な衝突といった分類に該当するような軽微な事案も含め、前年度より5件の増加となった。思いやりのある生徒の育成という点では課題も残るが、適切な組織的対応により問題が複雑化することなく解決に導くことができた。 ▲モラルやマナーを大切にすることができない生徒について保護者とも連携して対応にあったが、保護者にも子供に対する困り感があり、結局、指導が徹底できなかった。		A B C D		
12	来年度に向けての改善方策案 生徒指導ではなく生徒支援というように、今日的な生徒指導課題を解決していくためには様々な対応力とその場やその時に応じた生徒指導スタンスが必要となる。分掌という垣根にとらわれず、他分掌との連携を深めて生徒支援を行っていく。			

II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年3月7日

【意見・要望・評価等】
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なマナーやモラルは今後社会人として最も重要なことであり、積極的に取り組んでいただきたい。 ・いじめに関する問題がしっかり対応できているのありがたい。 ・「分掌という垣根」にとらわれず、生徒にとって最善の支援をお願いしたい。 ・「いじめ」について、保護者の評価が上がり、生徒の評価が下がっている点が心配な点である。 ・コロナによる厳しい状況下で、達成度の指標が高く無理があったように感じる。

2	評価する領域・分野	◇進路指導	
3	現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・「保護者が必要とする情報提供」と「進路希望に沿った適切なアドバイスをしている」は70%以上の高評価となっているが、分からないという意見にこたえるために、積極的な広報をしていきたい。	
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇地域社会に貢献できる人間を育成する。	
5	重点目標を達成するための校内における組織体制	・地元で貢献できる人材を育成するため、各学年会や活性化推進部と連携をはかりながら生徒の育成を行う。 ・進路実現のため、自分で進路を切り開く力を育成する。	
6	目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
	(1)活性化推進部や学年会と連携を図り、地元で働くことの意義を理解させる。 (2)模擬試験、適性検査等を積極的に受験し、自身自身の実力の向上を図る。	(1)自宅からの通勤、通学率。 (2)模擬試験、適性検査等の受験による数値を利用して客観的に実力を判断する。	
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
	①課題解決学習、産業社会と人間等でキャリア教育を実施した。 ②3年次生に対して「租税教室」などの外部講師を利用した講話を実施した。	①キャリア教育後、進路に対する様々な意識が向上した。 ②講話受講後、生徒達の将来に対する意識が向上した。	A (B) C D A (B) C D
11	成果・課題 ○難関企業にチャレンジする生徒が増加し、高い目標を設定する生徒が出るようになった。 ○四年制大学進学については、自分の適性を生徒自身が主体的に考え、幅広く学部、学科の決定ができた。 ▲医療福祉関係の専門学校の受験者に対する指導がやや不足した。		総合評価 A (B) C D
12	来年度に向けての改善方策案 (1) 医療福祉系の専門学校を希望する生徒に対しての学力指導と面接指導を充実させる。 (2) 進路支援部、活性化推進部と学年会でうまく連携を取りながら、キャリア形成を行う。		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年3月7日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元を知ってもらう取組を取入れ、地元で働く良さを理解してもらえると良い。 ・コロナ禍でキャリア教育を行うことが難しい状況であると思う。コロナが落ち着いたところで、キャリア教育に係わる様々な交流が図れるとよい。 ・保護者と生徒の評価の差が気になる点である。 ・進路指導に係る成果を感じる。地域社会に貢献できる人材の育成、自分で進路を切り開く力の育成を推進していただきたい。

2 評価する領域・分野	◇家庭（地域）との連携活動・総合学科推進・広報活動	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭との連携」のすべての項目において、肯定的評価が70%以上となり、下記の達成度の判断基準を満たした。（保護者「6連絡文書等」の項目以外はすべて80%以上であった。） ・「10徴収金について」「12個人情報管理」の項目において、「わからない」の回答率が他と比べて比較的高かった。 ・学校独自項目の「31総合学科として…」「34外部講師…」の肯定的評価については、保護者（地域）の評価は達成度基準を超えているが、生徒の評価は70%に達せず、改善すべき点として挙げられる。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇総合学科としての特色を生かした教育計画づくり ◇「開かれた学校」づくりの推進	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールとしての特徴を生かし、家庭や地域との連携をいっそう密にし、生徒の成長に向けての協働を追求する。 ・広報活動の充実をはかるとともに学校を見てもらう機会を積極的に設けることにより、いっそう「開かれた学校づくり」を進める。 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 学校運営協議会での協議を通し、家庭や地域との連携をいっそう密にし、生徒の成長に向けての協働を追求していく。 (2) 地域と連携した探究学習（課題解決学習）を推進する。	(1) 学校評価における「家庭（地域）との連携」の項目における肯定的な評価が70%以上になる。 (2) 学校評価における「学校独自項目」の「32総合学科の高校として…」「35外部講師による講座…」に関わる項目における肯定的な評価が70%以上になる。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
①学校運営協議会の3回実施と基調アンケートの実施。 ②地域で活躍する人物からの助言を受けての課題解決学習 ③授業「総合的な探究の時間」、「産業社会と人間」における外部講師による講座・講演・実技指導の充実	①地域との連携がなされ、成果が見られたか。 ②総合学科の高校として、生徒の期待に応えられたか。 ③総合学科の高校として、保護者（地域）の期待に応えられたか。	A (B) C D A (B) C D (A) B C D
11 成果・課題	総合評価 A (B) C D	
12 来年度に向けての改善方策案 昨年度始動した「土岐市との協働学習」については、一部の生徒たちが、地域の実体ある素材を探究学習に生かすことで、社会生活への意識を高めていく姿が見られた。 コロナ禍での課題もあるが、ICT、オンラインの活用を視野に含め、より多くの生徒が、地域の方たちと触れ合いながら、社会参画への意識を高めていけるよう計画、工夫していく。		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年3月7日

【意見・要望・評価等】 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での難しさは理解できる。隣接する小中学校との生徒交流についてもご一考いただきたい。 ・地元の高校生が地域の祭りや行事などに力を貸してくれるようになると助かる。 ・課題解決学習は、郷土愛を育むためにも非常に意味深い取組であると考えている。市行政としても引き続き協力していきたい。
